

高めあい 認め合い 楽しく学び合う小鹿野小学校  
～児童の将来の幸せに向けて～

校長 矢 嵩 泰

小鹿野小学校は明治3年の開校以来、140年を超える歴史と伝統ある学校です。かなたに両神山、武甲山を仰ぎ、近くには自然豊かな小鹿野の里山と小鹿野歌舞伎をはじめ特色ある文化に育まれた326名の児童が元気に活動をしている学校です。

「高めあい 認め合い 楽しく学び合う小鹿野小学校」をめざす学校像として掲げ、具体的な育てたい児童像として以下のような姿をめざしています。

- ・健康に気をつけ、たくましく生きる児童
- ・自分だけでなく社会への貢献を喜びに感じる児童
- ・自分と周りの人間を大切にできる児童
- ・自分の目標を持ち、それに立ち向かえる児童

健康に気をつけ粘り強く地道に取り組むことの大切さ、思いやりや人の思いに心を寄せる豊かな心、さらに、人の役に立つことに喜びを感じる生き方は現在の社会や将来の社会において求められる力であると私は考えています。

2045年、人工知能が人間の脳を超えるとされるシンギュラリティーにより、国内の労働人口の約49%がAIやロボットに代わり雇用の喪失が起きるといことが大きく取り上げられます。

2045年という、今から26年後、今の小学生が社会に出て働き盛りの年代です。その様な時代を生き抜いていくために、普遍的に求められているものは、「こうすれば、人の生活がよりよくなるであろう。」「こうすることが人の思いに寄り添う、支えることにつながるだろう。」という社会や人への貢献や「自分の思いを地道にやり遂げる心の強さ」だと考えます。

小さく僅かな取り組みかもしれませんが、小鹿野小学校では、子どもたちの将来を見つめた教育活動を保護者・地域の皆様との連携を図りながら地道に実践して参りたいと考えています。

小学校6年間における児童の健やかな成長のため、将来にわたる幸せのため、小鹿野小学校全教職員の力を結集し、チーム小鹿野小学校として児童を指導・支援して参ります。

本年度も皆様の小鹿野小学校へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします